

令和 6 年
大野市保健衛生の統計

(令和 5 年度統計)



大野市健幸福祉部健康長寿課

<目 次>

【令和5年度統計】

1	保健事業のあゆみ	1
2	機構・予算	6
3	医療	
1)	医療施設数	8
2)	医療従事者数	8
4	人口動態	
1)	大野市の総人口	8
2)	人口動態統計	10
5	疾病統計	
1)	国民健康保険加入者	11
2)	後期高齢者	14
6	大野市保健対策推進協議会	17
7	栄養改善事業	
1)	食生活改善推進員の活動	18
8	特定健康診査・特定保健指導事業	
1)	特定健康診査	19
2)	特定保健指導	20
3)	生活習慣病健診・後期高齢者健診	21
9	健康増進事業	
1)	健康教育	22
2)	健康相談	22
3)	各種がん検診	23
4)	訪問指導	28
10	健康づくり応援事業	
1)	おおのヘルスウォーキングプログラム	29
11	高齢者の健康づくり推進事業	
1)	フレイル予防事業	30
2)	結の故郷健康サポーター活動	31
12	母子保健事業	
1)	1歳6か月児健康診査	32
2)	2歳児健診（発達相談）	32
3)	3歳児健康診査	33
4)	幼児歯科健診とフッ素塗布	34
5)	母子健康手帳の交付	34
6)	不妊治療費助成事業	34
7)	妊婦情報事前登録制度	35
8)	離乳食教室	35
9)	育児相談会	35
10)	多胎妊産婦交流会	35
11)	母子訪問指導	35
12)	妊産婦・乳児一般健康診査等	36
13)	母乳外来等費用助成	36
13	予防接種事業	
1)	定期接種	37
2)	特例臨時接種	38
3)	任意接種	38
14	結核予防事業	39
15	地域医療対策事業	
1)	休日急患診療所	40
2)	和泉診療所	41
16	健康保養施設	42

1 保健事業のあゆみ

年度	内容	国の動向
昭和53年 (1978年)	1歳6か月児健康診査事業開始 国保保健婦から市町村保健婦として採用	
54年	大野市保健対策協議会設置	
55年	麻疹予防接種開始	
56年	大野市健康づくり市民のつどい開始	
57年	大野市健康管理センター(保健センター・休日急患診療所)設立	
58年	老人保健事業開始	老人保健法施行
59年	健康ウォーク開始	
62年	健康管理データベース事業 大野市母子保健推進員を保健推進員に改称(全市的に配置) 休日急患診療所土曜日の診療時間の延長・夜間の待機始まる	
63年	大野市保健計画策定	
平成元年	大野市保健推進員協議会設置 大野市健康診査申込調査開始	
4年		老人保健法第3次計画
6年	大野市老人保健福祉計画策定(第2次保健計画) インフルエンザ予防接種廃止	地域保健法制定 関係法改正
7年	風疹個別予防接種開始及び中学校3年の対象を男女に拡大	
8年	大野市母子保健計画、大野市栄養改善計画策定 大野市健康づくり市民のつどい終了 地域健康づくり事業開始	
9年	母子保健サービスが市に移譲 (3歳児健康診査、妊婦・乳幼児健康診査、訪問指導、 一般栄養指導等の実施) 大野市食生活改善推進員連絡協議会設置 休日急患診療所休日・日曜日の診療時間の延長	地域保健法施行 予防接種法・母子保健法等 関係法改正
10年	大野市高齢者健康調査の実施	
11年	健康づくり推進事業(高齢者ふれあい教室新規実施)	
12年	B型リハビリ実施(3か所) 総合健康指導事業(コンピュータヘルスチェック)実施 まちぐるみ健診モデル地区活動実施 健康保養施設「あっ宝んど」オープン 骨粗鬆症検査導入 休日急患診療所小児科開設(午後1時診療開始)	介護保険法施行 健康日本21(21世紀にお ける国民健康づくり運動) 平成12年3月通知
13年	第3次保健計画策定 生活習慣病健診充実 (LDLコレステロール検査、ヘルスアセスメント) 地域・職域健康会議の開催 (小規模事業にがん検診PRチラシ配布) 保健・医療・福祉拠点づくり市内ワーキンググループ会議実施 高齢者のインフルエンザ個別接種実施 休日急患診療所小児科診療時間の延長(午前9時診療開始)	予防接種法改正

平成14年 (2002年)	生活習慣病健診等充実 (C型肝炎、乳がんマンモグラフィー実施) 「健康おおの21」の検討 健康トライ&トライの作成 地域医療推進事業開始(「かかりつけ医制度」の啓発) 保健推進員定例会の開始、B型リハビリ終了 外国人のための育児相談会開催	老人保健制度・医療保健制度の一部改正
15年	大野市健康づくり計画「健康おおの21」策定 毎月1日は健康づくりの日設置 個別予防接種対象年齢引き下げ	健康増進法施行
16年	さわやか貯筋運動実施 転倒予防講座実施 ママ・パパ子育て講座開催 小児救急医療支援事業開始	結核予防法の一部改正
17年	大野市・和泉村が合併し、新「大野市」誕生 大野市和泉診療所の開設 大野市特定不妊治療費助成事業開始 「健康おおの21」中間評価 乳がん検診にてマンモグラフィーと視触診併用 BCG対象年齢引き下げ(6か月未満対象) 日本脳炎予防接種の積極的勧奨さしひかえ	介護保険法改正 食育基本法施行 発達障害者支援法施行
18年	元気なおおのっ子出産応援事業開始 毎月1日に「さわやか貯筋運動」として推定筋肉量測定開始 麻疹風疹混合ワクチン(MRワクチン)による予防接種Ⅰ・Ⅱ期開始 介護予防事業として長寿健康講座、訪問指導等実施 健康保養施設「あっ宝んど」指定管理委託開始	高齢者虐待防止法施行 障害者自立支援法施行
19年	こんにちは赤ちゃん事業開始 妊婦健診助成事業、不妊治療費助成事業の拡大 BCG個別接種開始 産婦人科医療連携体制支援事業開始 狂犬病予防事業・感染症予防事業・葬斎場管理事業は環境衛生課へ移行 大野市特定健康診査等実施計画策定 休日急患診療所の診療日(12月31日)追加	がん対策基本法施行
20年	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく、特定健診事業の開始 メタボリックシンドローム該当者・予備群対象に特定保健指導の開始 発達相談すてっぷ開始 休日急患診療所の診療日(8月15日・16日)追加	健康増進法に基づく健康診査事業の廃止
21年	日本脳炎予防接種再開 子宮がん乳がん無料クーポン配布 新型インフルエンザ流行の為、フッ素塗布中止 新型インフルエンザ予防接種開始	
22年	がん検診で対象者をく特別徴収者除く40歳以上の全市民に拡大 がん個別検診開始 ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がんワクチン公費助成開始 健やかマタニティ手当支給事業開始	
23年	日本脳炎予防接種の積極的接種勧奨開始 特定健診個別健診開始 肝炎、大腸がん検診無料クーポン配布 がん検診未受診者対策(コールリコールシステム)開始 第2次健康おおの21策定	
24年	保健センターは「結とぴあ」移転 在宅医療相談支援センターの設置 不活化ポリオワクチンを9月から導入開始 四種混合予防接種の開始(H24.8月生以降)	

平成25年 (2013年)	風しん等ワクチン予防接種費用助成の開始 高校3年生を対象に日本脳炎予防接種2期の積極的勧奨の実施 休日急患診療所整備 結の故郷健康サポーター事業の開始 未熟児訪問指導の開始 子宮頸がん予防接種における積極的勧奨の休止 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定	
26年	水痘、高齢者用肺炎球菌予防接種およびA類の広域的予防接種を10月から開始 65歳以上の市民のあっ宝んど利用料金を、9月1日より600円から500円に減額	医療・介護総合確保推進法制定
27年	がん検診で対象者を40歳以上の全市民に拡大 育児相談で、福井県助産師会の協力で助産師による母乳相談を開始 あっ宝んどの指定管理者を公募し選定を実施	
28年	胃がん検診に内視鏡検査を導入 胃がんリスク検査(ピロリ菌抗体検査・ペプシノゲン検査)を開始 B型肝炎ワクチンの予防接種を10月から実施 9歳児を対象に日本脳炎2期の積極的勧奨の実施 三種混合ワクチンが7月で廃止、以後四種混合で対応 越前おおの健康づくり計画「第3次健康おおの21」を策定 和泉診療所の備品購入(内視鏡システム・血圧脈波検査装置) 和泉診療所医師住宅増改築 あっ宝んどプール塗装修繕およびポンプ設備修繕 第3次健康おおの21策定	
29年	就学前までの定期予防接種の予診票綴を作成し平成29年4月生まれ以降の対象者に配布 胃がん・子宮がん検診をがん検診の指針に基づき隔年受診に変更 「推定筋肉量測定」を「健康プラスデー」として試食・運動講座2回に内容を充実 休日急患診療所における災害時の「救護所開設訓練」について消防署と連携により実施 あっ宝んどポンプ類修繕及び浴室排煙設備修繕 和泉診療所の「超音波診断装置」を更新 子育て世代包括支援センターが開設(4/1～)になり、福祉こども課と連携し、保健師や保育士が相談事業等を実施 健康増進事業の「機能訓練」が介護保険特別会計の介護予防地域支援事業の総合事業として「元気づくり体操クラブ」に変更になる	
30年	「健康プラスデー」の参加者に生活機能改善機器(カラオケ)を活用した健康講座(カリリハ)を開始 「元気づくり体操クラブ」に健康サポーターが協力し活動開始 保育所等巡回発達相談で、大野市児童デイサービス職員派遣 休日急患診療所として総合防災訓練に参加し、福井勝山総合病院のDMATと協力して災害時の救護所開設訓練を実施 3歳児健診において、スポットビジョンクリーナー(SVS)視機能検査機器を用いた、弱視等の検査を実施(12月～)	健康増進法改正 (受動喫煙防止法)

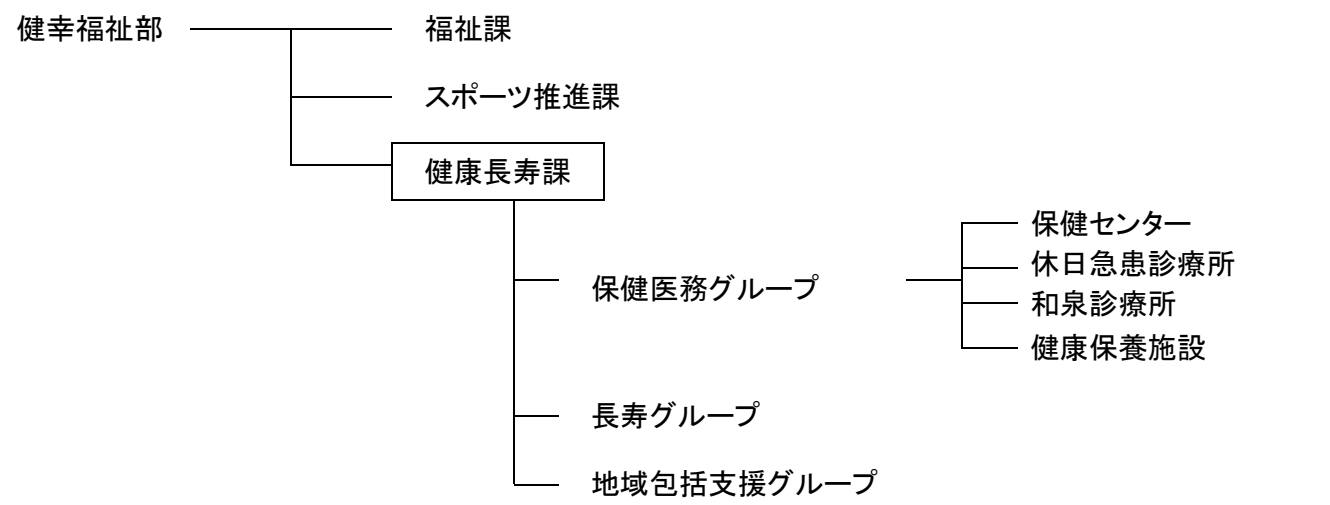
令和元年 (2019年)	健康づくりポイント事業の開始 健康ハッピータイム(健康づくりミニ講座と生活機能改善機器を用いた運動講座)の開始 ラジオ体操講習会の開催 フレイルサポーター養成講座の開催 野菜の摂取量アップのための野菜(831)の日キャンペーンの開始 結の故郷健康・食守フェスタの開催【農業林業振興課、生涯学習課(スポーツ振興室)、健康長寿課】 全国健康保険協会福井支部との健康づくりの推進に向けた包括的連携協定式(令和元年7月19日) 大塚製薬株式会社名古屋支店との健康づくりに関する包括連携協定締結(令和2年3月30日) 和泉診療所備品購入(内視鏡洗浄消毒装置、自動血球計数装置) 休日急患診療所備品購入(レセプトコンピューター、保険薬局システム) あっ宝んど ろ過タンク(露天風呂、バーディーゾーン)修繕 7月より1歳6か月児健診において発達相談を希望される方に対し、2歳児健診(発達検査・発達相談)を実施 令和2年2月より妊婦情報事前登録制度を開始	
2年	希望する市民への布製マスクの配布 母乳外来受診に係る費用助成を開始 産後健診に係る費用助成を開始 新生児聴覚検査に係る費用助成を開始 幼児健診時に歯科衛生士による歯磨き指導(年12回)を実施 3歳児健診時に歯科医師によるフッ素塗布(年12回)を実施 小、中学生に対し、インフルエンザ予防接種費用の助成を開始 おおのヘルスウォーキングプログラムを実施 明治安田生命保険相互会社と健康づくりに関する包括連携協定締結(令和3年2月17日) あっ宝んどの指定管理者を公募し選定 休日急患診療所の土曜日深夜待機を廃止 休日急患診療所備品購入(殺菌線保管庫、スリッパディスペンサー、プラズマクラスター加湿空気清浄機等) 和泉診療所備品購入(心電計、空気清浄除菌脱臭装置、スリッパディスペンサー等) あっ宝んど 空調機器取替修繕	
3年	新型コロナワクチン接種開始 「おおのヘルスウォーキングプログラム 2021」を兵庫県西脇市、京都府南丹市、岩手県金ヶ崎町と共同で実施 多胎妊産婦相談会の実施 1歳6か月児健診時に歯科医師によるフッ素塗布(年12回)を実施 第4次健幸おおの21策定 健康 HAPPY タイムの廃止 大野市保健推進員の廃止 休日急患診療所備品購入(心電計、薬用冷凍冷蔵庫) 和泉診療所備品購入(生化学自動分析装置、CRシステム) あっ宝んどサウナ室、紙幣両替機・券売機修繕等 あっ宝んど備品購入(AED)	

令和4年 (2022年)	オミクロン株対応の新型コロナワクチン接種開始 風しん追加的対策事業3年間延長(令和6年度末まで) 出産・育児スタート応援事業を拡充(妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施) 「おおのヘルスウォーキングプログラム 2022」を兵庫県西脇市、京都府南丹市、岩手県金ヶ崎町と共同で実施(2年目) 休日急患診療所にてオンライン資格確認を開始 休日急患診療所備品購入(オンライン資格確認用端末、ルーター、・生化学自動分析装置、AED 等) 和泉診療所にてオンライン診療の実証を開始 和泉診療所にてオンライン資格確認を開始 和泉診療所備品購入(オンライン資格確認端末一式、汎用超音波画像診断装置、システム顕微鏡) 和泉診療所修繕(トイレ洋式化) あっ宝んど修繕(サウナ室、造波プール塗装、トイレ洋式化等) あっ宝んど備品購入(プールクリーナー)	
5年	能登半島地震の被災地に保健師2名、管理栄養士1名を派遣 4月から9価の「HPV ワクチン」の公費接種を開始 9月からオミクロン株(XBB)対応の新型コロナワクチン接種を開始 9月に保健センターにて乳幼児身体発育調査を実施 新型コロナワクチンの特例臨時接種が3月末で終了 出産・子育て応援給付金の支給方法を現金のみからデジタル地域通貨を追加(10月支給分から) 「おおのヘルスウォーキングプログラム 2023」を兵庫県西脇市、京都府南丹市、岩手県金ヶ崎町と共同で実施(3年目) 5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行 5月13日から休日急患診療所にて新型コロナウイルス感染症患者の診療を開始 休日急患診療所備品購入(レントゲン画像サーバー一式、ベッドサイドモニタ(生体情報モニタ)) 和泉診療所の歯科診療を11月末で廃止 和泉診療所備品購入(小型自動分包機、上部消化管汎用ビデオスコープ) あっ宝んど修繕(25mプール、屋内プール照明等のLED化、浴室、ポンプ等)	

2 機構・予算

—令和6年度—

(令和6年4月1日現在)



課		グループ	
課長 兼 所長 1人	保健医務 担当 課長補佐 1人	保健医務グループ(保健センター兼務)	企画主査 2人 主任管理栄養士 1人 主任保健師 2人 主査 1人 保健師 2人 主事 1人 管理栄養士(会計年度任用職員) 1人 事務補助(会計年度任用職員) 1人
		休日急患診療所(保健センター兼務)	看護師(会計年度任用職員) 4人 医療事務(会計年度任用職員) 2人
	所長(内 科医師) 1人	和泉診療所	指導看護師 1人 企画主査 1人 看護師 1人
	長寿 担当 課長補佐 1人	長寿グループ	企画主査 1人 主任社会福祉士 1人 主事 2人 介護認定調査員(会計年度任用職員) 3人
	地域包括 支援 担当 課長補佐 1人	地域包括支援グループ (在宅医療相談支援センター) (地域包括支援センター)	企画主査 1人 主任保健師 2人 主任社会福祉士 1人 介護支援専門員(会計年度任用職員) 2人 認知症地域支援推進員(会計年度任用職員) 1人 在宅医療コーディネーター(会計年度任用職員) 1人

令和6年度歳出予算額【当初】		(単位:千円)
会計区分	費 目	金 額
一般会計	保健衛生総務費	56, 141
	予防費	186, 986
	健康増進費	106, 023
	休日急患診療所費	111, 785
	健康保養施設費	39, 167
	計	500, 102
和泉診療所事業特別会計	一般管理費	53, 165
	医業費	20, 500
	元金	3, 695
	利子	60
	予備費	200
	計	77, 620



保健・医療・福祉サービス拠点施設:結とぴあ

3 医 療

1)医療施設数

医療施設数	病院	4
	一般診療所	23
	歯科診療所	8
病床数	病院	176
	一般診療所	19
	歯科診療所	0

R5. 3. 31現在

2)医療従事者数

医療従事者数（人）	医師	26
	歯科医師	15
	薬剤師	29
	保健師	21
	助産師	1
	看護師	115
	准看護師	126

R2. 12. 31現在

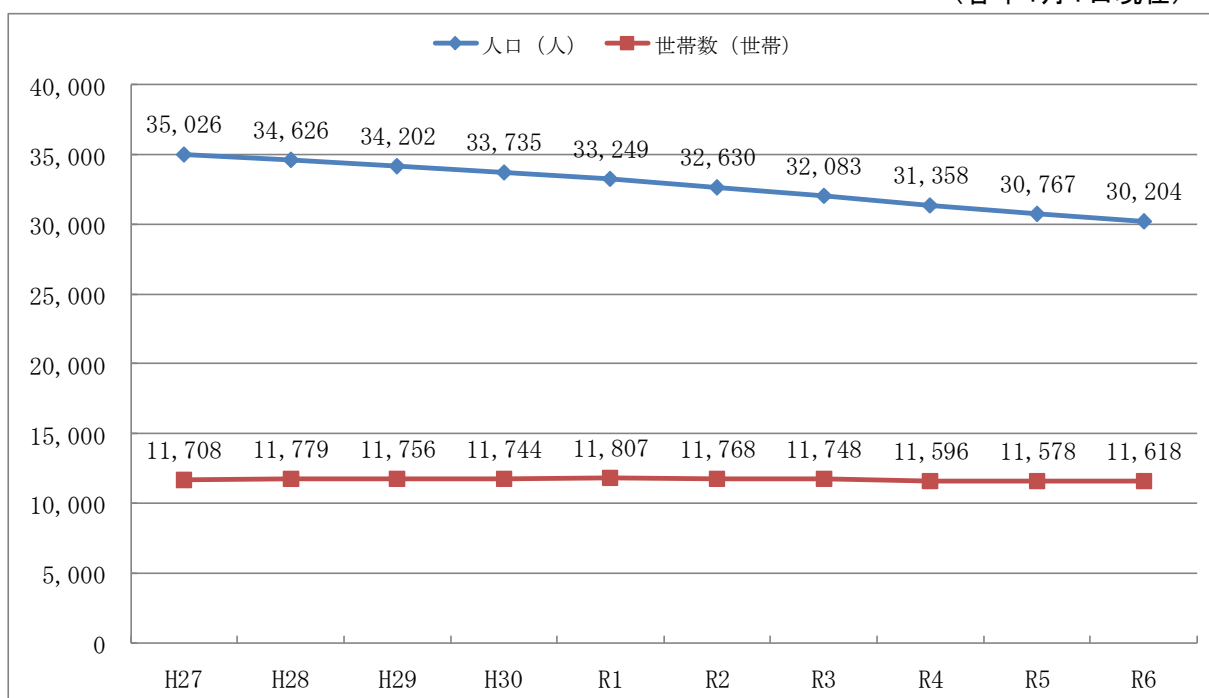
※ 奥越健康福祉センター調べ

4 人 口 動 態

1)大野市の総人口

(1)人口の推移(外国人登録者数含む)

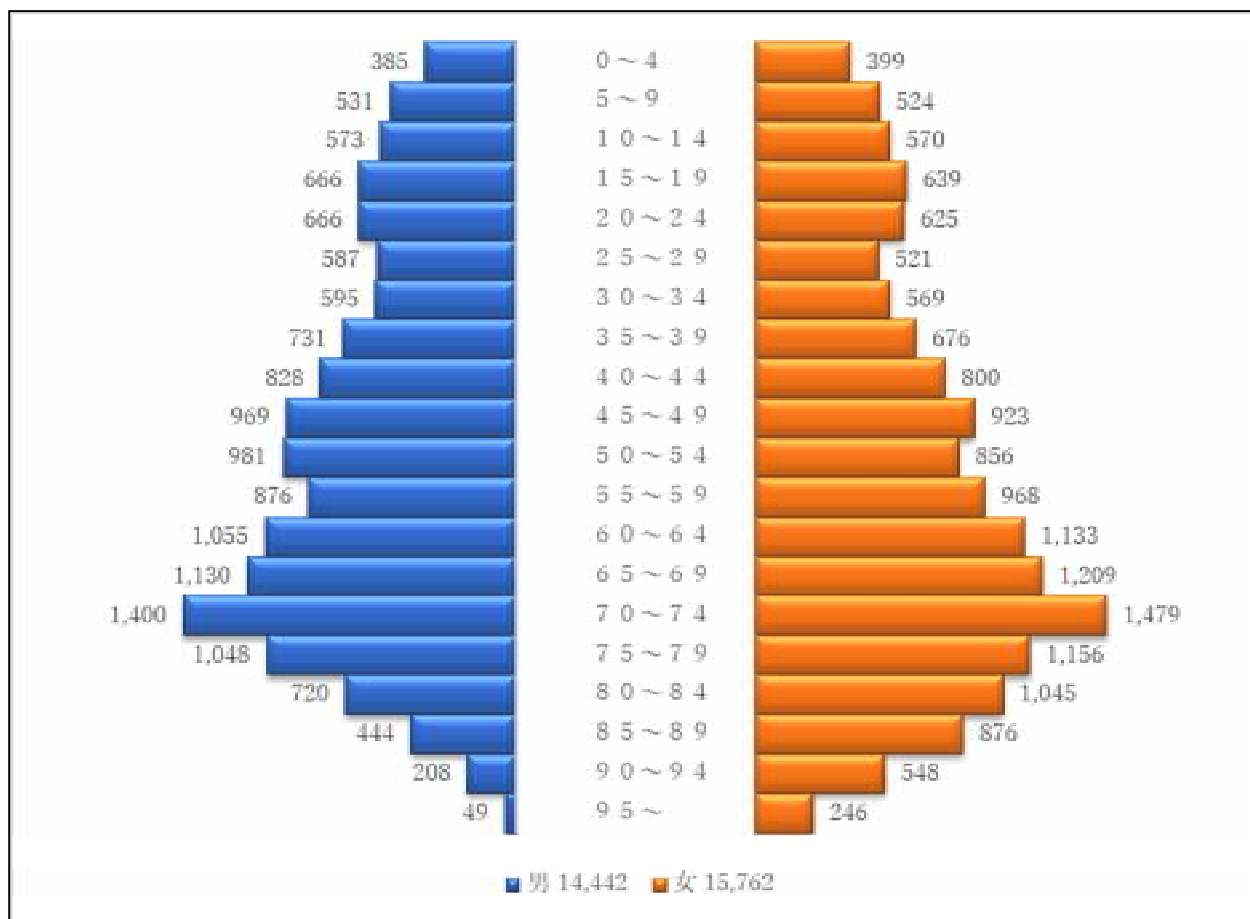
(各年4月1日現在)



(2)人口ピラミッド

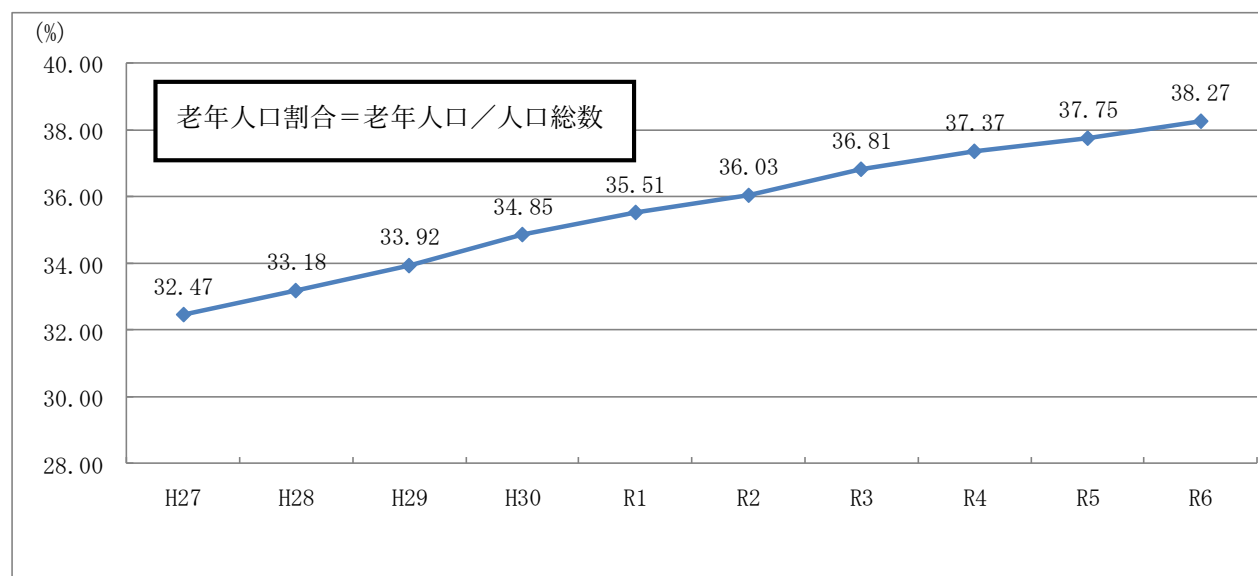
令和6年4月1日現在

人口 30,204人



(3)老年人口割合(65歳以上の割合)

(外国人登録者数を含む)



2)人口動態統計

区分		死 亡		出 生		乳 児 死 亡		死 産	
		数 (人)	率 (%)	数 (人)	率 (%)	数 (人)	率 (%)	数 (人)	率(%)
大野市	25年	475	14.2	228	6.8	0	0.0	7	29.8
	26年	450	13.6	222	6.7	0	0.0	4	17.7
	27年	498	15.0	215	6.5	0	0.0	3	13.8
	28年	504	15.6	205	6.3	0	0.0	5	15.5
	29年	507	15.9	198	6.2	0	0.0	2	10.0
	30年	481	15.3	192	6.1	0	0.0	3	15.4
	元年	561	18.2	160	5.2	0	0.0	4	24.4
	2年	457	14.6	190	6.1	1	5.3	4	20.6
	3年	540	17.9	156	5.2	0	0.0	4	25.0
	4年	575	19.5	146	4.9	0	0.0	4	26.7
福井県	25年	8,764	11.2	6,461	8.2	12	1.9	149	22.5
	26年	8,817	11.3	6,166	7.9	12	1.9	161	25.4
	27年	8,971	11.5	6,230	8.0	11	1.8	147	23.1
	28年	9,228	11.9	6,112	7.9	16	2.6	146	23.3
	29年	9,347	12.2	5,856	7.6	11	1.9	107	17.9
	30年	9,221	12.1	5,826	7.6	8	1.4	128	21.5
	元年	9,593	12.7	5,307	7.0	12	2.3	120	22.1
	2年	9,286	12.1	5,313	6.9	24	4.5	93	17.2
	3年	9,721	13.0	5,223	7.0	6	1.1	103	19.3
	4年	10,519	14.2	4,861	6.6	9	1.9	90	18.2
全 国	25年	1,268,436	10.1	1,029,816	8.2	2,185	2.1	24,102	22.9
	26年	1,273,004	10.1	1,003,539	8.0	2,080	2.1	23,524	22.9
	27年	1,290,444	10.3	1,005,677	8.0	1,916	1.9	22,617	22.0
	28年	1,307,748	10.5	976,978	7.8	1,928	2.0	20,934	21.0
	29年	1,340,397	10.8	946,065	7.6	1,761	1.9	20,358	21.1
	30年	1,362,470	11.0	918,400	7.4	1,748	1.9	19,614	20.9
	元年	1,381,093	11.2	865,239	7.0	1,654	1.9	19,454	22.0
	2年	1,372,755	11.1	840,835	6.8	1,512	1.8	17,278	20.1
	3年	1,439,856	11.7	811,622	6.6	1,399	1.7	16,277	19.7
	4年	1,569,050	12.9	770,759	6.3	1,356	1.8	15,179	19.3

※福井県ホームページ・地域福祉課・統計資料(第2・3表人口動態実数及び率)より



(注) 死亡・出生率:人口1,000人対
乳児死亡率:出生1,000人対
死産率:出産(出生+死産)1,000人対

5 疾病統計(国保データベースシステム(KDB)より令和5年5月分のデータを抽出)

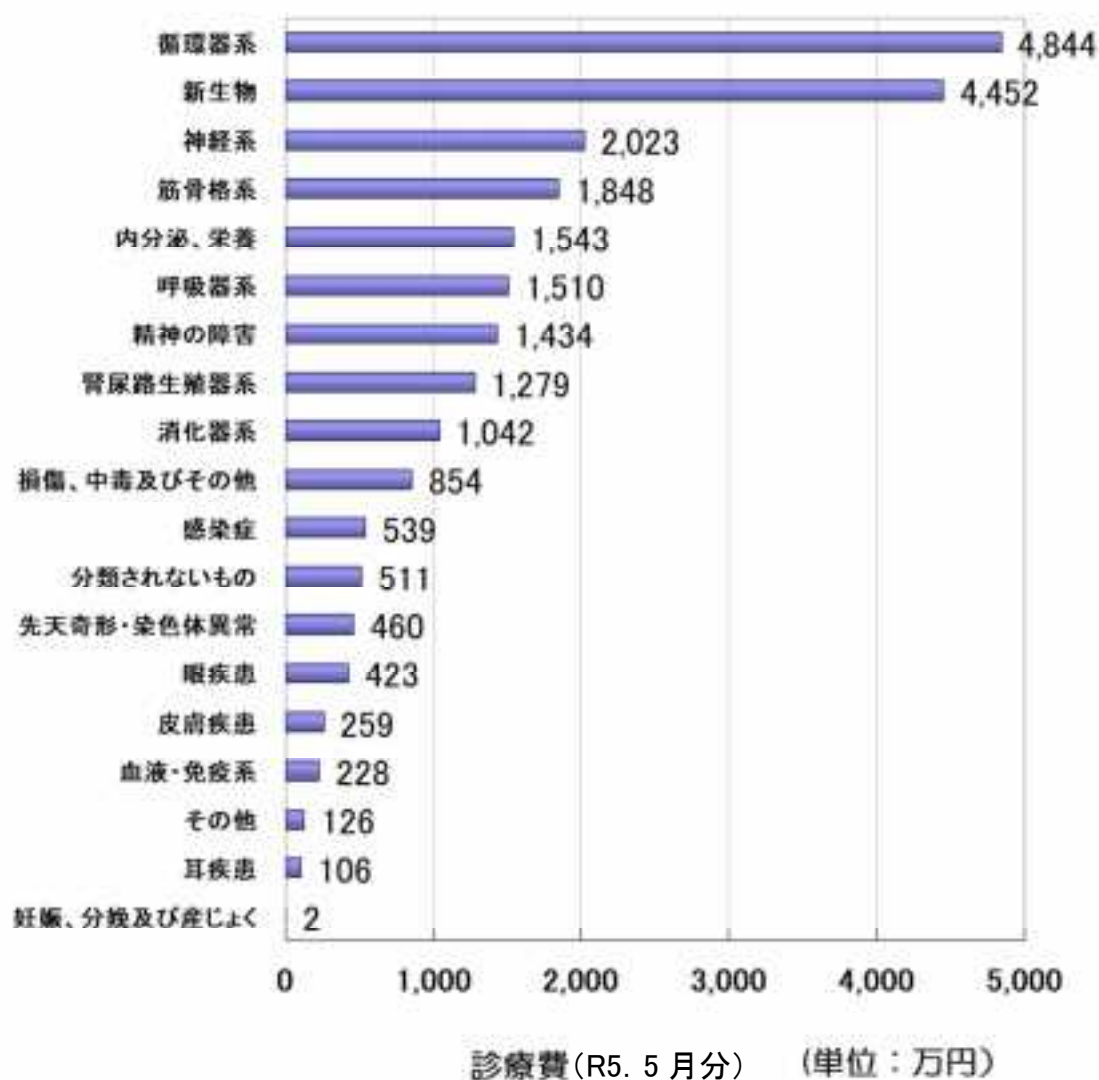
1)国民健康保険加入者

(1)疾病分類別診療費

令和5年5月末時点での国民健康保険加入者6,114人。

診療費総額は、約2億3,484万円となっている。

疾病分類別にみると、循環器系の診療費が約4,844万円で最も高額となり、次いで新生物の約4,452万円が続く。



(2) 疾病分類別件数

総診療件数は、4,605件である。

うち、循環器系は782件で最も多く、全体の診療費も高い。

次いで、内分泌、栄養が776件、筋骨格系が489件と続く。



(3) 疾病別1件あたり診療費

先天奇形・染色体異常にかかる1件あたりの診療費が、約76.7万円と最も高額である。

次いで、新生物が約25.6万円、血液・免疫系が約16.3万円となっている。



2]後期高齢者

(1)疾病分類別診療費

令和5年5月末時点での後期高齢者医療保険加入者6,170人である。

診療費総額は、約4億4,410万円である。

疾病分類別にみると、循環器系の診療費が約1億395万円で最も突出している。

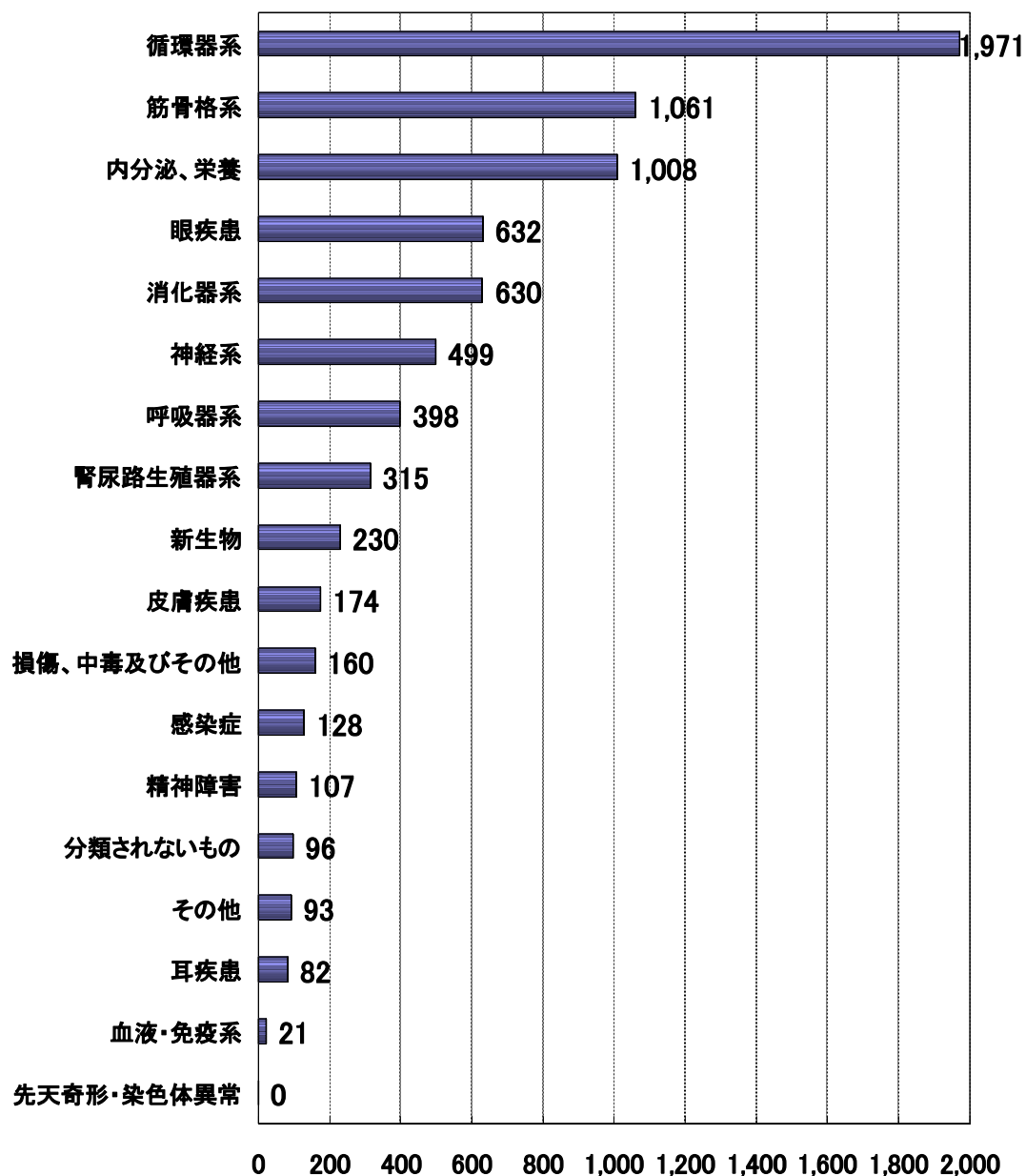
次いで、新生物が約6,138万円、呼吸器系が約4,959万円である。



(2) 疾病分類別件数

総診療件数は、7,605件である。

うち、循環器系の件数が1,971件で最も突出している。



件数 (R5. 5 月分) (単位: 件)

(3) 疾病別1件あたり診療費

新生物が、約26.7万円と最も多い。

次いで、血液・免疫系が約15.7万円で、損傷、中毒及びその他が約14.2万円と続く。



6 大野市保健対策推進協議会

【大野市保健対策推進協議会】

大野市保健対策推進協議会設置規程に基づき設置している。

協議会では、市が実施する各種健康診査、健康相談、健康栄養相談、食生活改善等自主組織の育成、健康教育等住民の健康づくりの方策等について体系的、総合的に調査審議する。

【関係機関】

大野市医師会・大野市歯科医師会・奥越健康福祉センター・大野市薬剤師会・大野市区長連合会・大野市小中学校校長会・大野商工会議所・大野市老人クラブ連合会・JA福井県女性部テラル支部・大野市食生活改善推進員連絡協議会

【協議内容】

令和5年8月24日(木)開催

(主な協議内容)

- ・令和4年度健幸おおの21推進項目の取組状況について
- ・令和4年度保健事業実施状況について
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について
- ・令和5年度おおのヘルスウォーキングプログラム事業について

7 栄養改善事業



1) 食生活改善推進員の活動

令和5年度の推進員数は52名。一般の住民を対象とし、調理実習をメインとした講習会を開催している。

(1) 食生活改善推進員地区研修会

テーマを設定し、推進員対象の研修会を行い、今後の活動に必要な知識を習得する。

テーマ	実施地区	回数(回)	人数(人)	実施場所
緑黄色野菜	阪谷	1	5	阪谷公民館
	富田	1	4	富田公民館
	上庄	1	8	上庄公民館
	下庄	1	10	下庄公民館
	大野・小山・乾側	1	3	結とびあ

(2) 食生活改善推進員による地区活動

研修会を基に推進員がリーダーとなり、地域で講習会を実施している。

テーマ	実施地区	回数(回)	人数(人)	実施場所
緑黄色野菜	阪谷	1	20	阪谷公民館
	富田	2	40	富田公民館・下唯野生活センター
	上庄	1	15	平沢開発センター
	下庄	2	17	南新在家集落センター・横枕ふれあい会館
	大野・小山・乾側	0	0	
合計	5地区	6	92	

(3) 食生活改善推進員養成講座

地域住民と行政機関とのパイプ役として、より良い食生活をすすめる活動をする食生活改善推進員の養成講座を実施している。

実施回数	修了者数
6回 (9月～2月 各月1回)	13人

(4) その他の活動

食生活改善推進員は、その他にも食生活改善のための多彩なボランティア活動を展開している。

【主な活動】

市との連携事業	その他の事業	
・健康ランチバイキング ・ヘルスメイト自主研修会 ・調理技術向上研修会 ・各地区まつり ・食守フェスタ ・健康プラスデー健康料理試食提供	・おやこの食育教室 ・生涯骨太クッキング ・母子栄養強化リーダー研修会 ・健康寿命延伸プロジェクト事業 ・食と農の博覧会	・伝承料理普及事業 ・男性のための料理教室 ・若者世代 ・事業所サポート事業 ・福祉ふれあいまつり - など

8 特定健康診査・特定保健指導事業

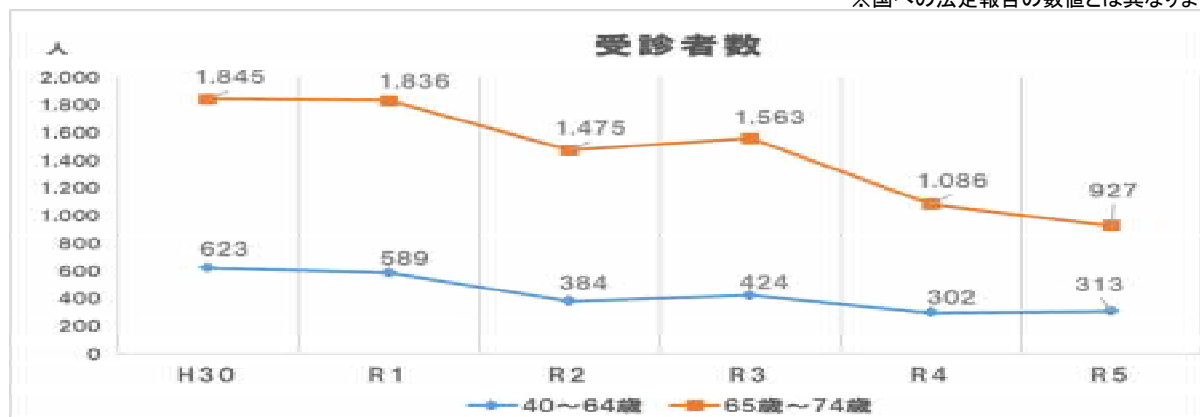
1) 特定健康診査

「高齢者の医療の確保に関する法律」の施行に伴い、平成20年度より、40～74歳の大野市国民健康保険の被保険者を対象に特定健康診査・特定保健指導を開始した。

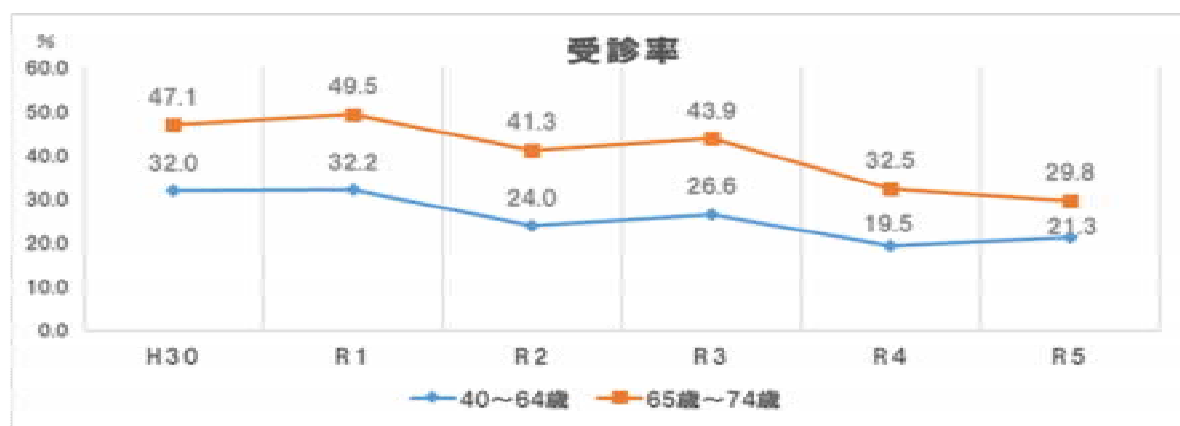
また、平成23年度からは集団健診に加え個別健診も導入している。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響で受診率が低下した。(R6. 5月時点)

年	受診者数 (人)			対象者人数		
	40～64歳	65歳～74歳	合計	40～64歳	65歳～74歳	合計
H30	623	1,845	2,468	1,945	3,915	5,860
R1	589	1,836	2,425	1,827	3,709	5,536
R2	384	1,475	1,859	1,602	3,574	5,176
R3	424	1,563	1,987	1,591	3,563	5,154
R4	302	1,086	1,388	1,551	3,341	4,892
R5	313	927	1,240	1,470	3,111	4,581

※国への法定報告の数値とは異なります



年	受診率 (%)		
	40～64歳	65歳～74歳	合計
H30	32.0	47.1	42.1
R1	32.2	49.5	43.8
R2	24.0	41.3	35.9
R3	26.6	43.9	38.6
R4	19.5	32.5	28.4
R5	21.3	29.8	27.1

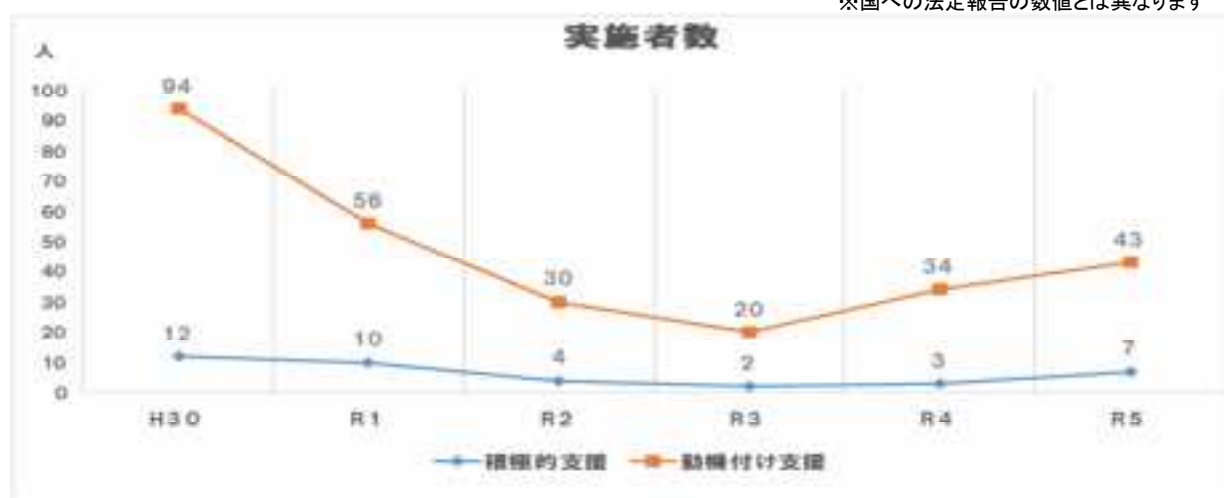


2)特定保健指導

特定健康診査の結果から、受診者全員を保健指導の必要性ごとに「情報提供」「動機付け支援」「積極的支援」の3つに区分(階層化)。「動機付け支援」および「積極的支援」の該当者から医療を要する者を除き、特定保健指導を実施した。(R6. 5月時点)

年	実施者数 (人)			対象者人数		
	積極的支援	動機付け支援	合計	積極的支援	動機付け支援	合計
H30	12	94	106	41	191	232
R1	10	56	66	46	164	210
R2	4	30	34	20	123	143
R3	2	20	22	37	145	182
R4	3	34	37	15	118	133
R5	7	43	50	32	136	168

※国への法定報告の数値とは異なります



年	実施率 (%)		
	積極的支援	動機付け支援	合計
H30	29.3	49.2	45.7
R1	21.7	34.1	31.4
R2	20.0	24.4	23.8
R3	5.4	13.8	12.1
R4	20.0	28.8	27.8
R5	21.9	31.6	29.8



3)生活習慣病健診・後期高齢者健診

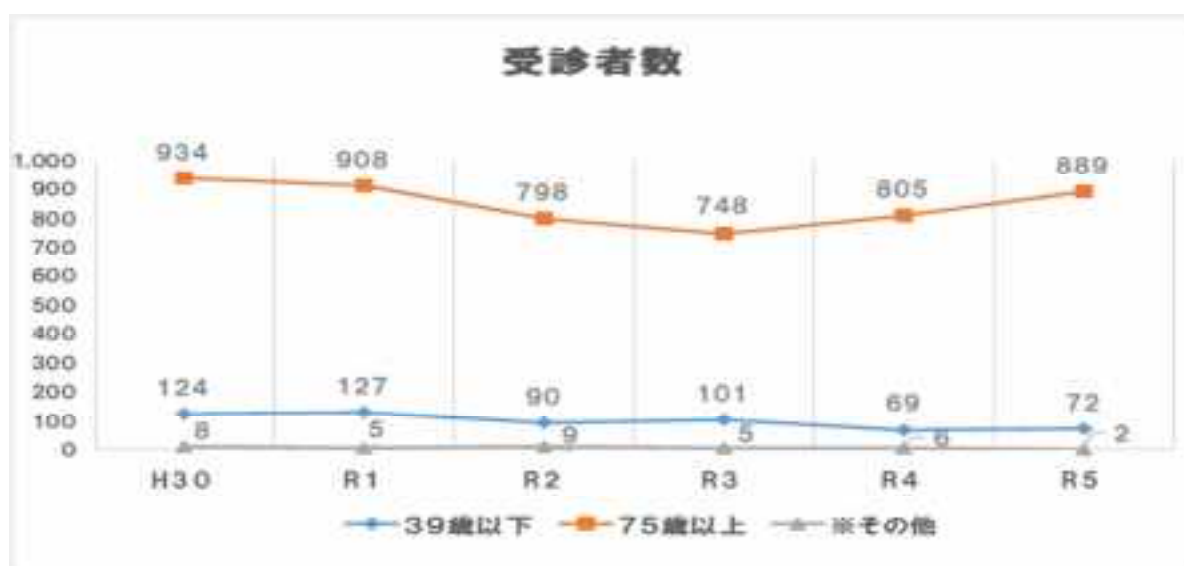
若年からの健康管理として39歳以下の希望者に対し生活習慣病健診を実施した。

また、平成20年4月から後期高齢者医療制度の開始に伴い、75歳以上の生活習慣病健診は後期高齢者健康診査として実施している。

(R6. 5月時点)

※その他:特定健診必須項目欠陥者・国保資格途中喪失者等

年	受診者数 (人)			
	39歳以下	75歳以上	※その他	合計
H30	124	934	8	1,066
R1	127	908	5	1,040
R2	90	798	9	897
R3	101	748	5	854
R4	69	805	6	880
R5	72	889	2	963



9 健康増進事業

1)健康教育

項目	講座名等	開催回数 (回)	実人数 (人)	延人数 (人)	従事者延人数(人)				
					医師・ 歯科医師	保健師	管理 栄養士	その他	計
市主催分	健康プラスデー (軽体操講座)	12	102	412	0	18	20	8	46
	血管みえるみえる講座	6	55	98	0	23	13	8	44
	糖尿病予防教室	0	0	0	0	0	0	0	0
	禁煙支援	18	73	73	0	4	14	27	45
団体からの依頼分		4	190	190	0	2	2	0	4
合 計		40	420	773	0	47	49	43	139

2)健康相談

内 容		実施回数 (回)	被指導延人数 (人)	従事者延人数(人)						
				医師	歯科医師	歯科衛生士	保健師	看護師	管理栄養士	歯科助手
重点施策	歯科相談	15	368	0	0	30	0	0	0	0
	歯科検診(休日健診・和泉地区)	5	45	0	5	0	4	0	0	1
総合相談	健康栄養相談	7	25	0	0	0	16	0	9	0
	健康プラスデー	12	1,057	0	0	0	18	0	20	0
	電話相談	736	736	0	0	0	537	0	24	0
	団体依頼分	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		775	2,231	0	5	30	575	0	53	1

3)各種がん検診

(1)肺がん検診

1)受診状況

対象者人数	受診者(40歳以上)			
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合
10,195	2,483	1,678	805	24.4%

※対象者数については、R2年度の国政調査に基づき算定された人数を記載。(40歳以上の市民-職域対象者)

2)精密検査受診状況(令和4年度)※対象者数はH27年度の国勢調査に基づき算定された人数を記載

対象者人数	受診者(40歳以上)				所見なし		要精密検査人数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合	人数	率				
10,195	2,472	1,683	789	24.2%	2,337	94.5%	135	5.5%	97	71.9%

3)精密検査結果(令和4年度)

内容	人数	内容	人数
肺がん	2	肺結核	0
肺がん疑い(GGN 以外)	3	非結核性抗酸菌症	2
肺がん疑い(GGN)	0	その他の炎症	15
転移性肺腫瘍	0	その他	28
胸腔内その他の悪性腫瘍	0	異常なし	47
胸腔内その他の良性腫瘍	0	合計	97

4)受診状況(喀痰検査)

喀痰配布者数	受診数	受診率	所見なし		要精密検査人数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率	検体不適当要再検
			人数	率					
19	14	73.7%	14	100.0	0	0	0	0	0

※集団のみ ※受診者のうち 50 歳以上の高危険群は 6 人

(2)胃がん検診

1)受診状況

対象者人数	受診者(40歳以上)								
	総受診者数(A)	集団	個別(内視鏡)	個別(透視)	対象者に対する割合	前年度の受診者数(B)	2年連続受診者数(C)	A+B-C(D)	受診率(D)/R5対象数
9,797	896	444	433	19	9.1%	970	0	1,866	19.0%

※対象者数については、R2年度の国政調査に基づき算定された人数を記載。(40歳以上の市民-職域対象者)

※H28年度から50歳以上個別検診で内視鏡が選択できるようになった。※H29年度から隔年受診に変更した

※受診率=((前年度の受診者数)+(当該年度の受診者数)-(前年度および当該年度における2年連続受診者数))/(当該年度の対象者数)×100

2)精密検査受診状況(令和4年度)※対象者数はH27年の国勢調査に基づき算定された人数を記載

対象者人数	受診者(40歳以上)					所見なし		要精密検査人数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率
	総受診者数	集団	個別(内視鏡)	個別(透視)	対象者に対する割合	人数	率				
9,797	970	548	390	32	9.9%	918	94.6%	52	5.4%	47	90.4%

3) 精密検査結果(令和4年度)

内容	人数	内容	人数	内容	人数
がん早期	4	胃潰瘍癒痕	3	胃・十二指腸癒痕	0
がん進行	1	十二指腸潰瘍	1	その他	27
ポリープ	4	十二指腸癒痕	0	異常なし	6
胃潰瘍	1	胃・十二指腸潰瘍	0	合計	47

(3)大腸がん検診

1)受診状況

対象者人数	受診者(40歳以上)			
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合
10,195	2,263	1,533	730	22.2%

※対象者数については、R2年度の国政調査に基づき算定された人数を記載。(40歳以上の市民-職域対象者)

2)精密検査受診状況(令和4年度) ※対象者数については、H27年度の国政調査に基づき算定された人数を記載

対象者人数	受診者(40歳以上)				所見なし		要精密検査人数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合	人数	率				
10,195	2,249	1,561	688	22.1%	2,178	96.8%	71	3.2%	48	67.6%

3)精密検査結果(令和4年度)

内容	人数	内容	人数
がん早期	2	大腸炎	1
がん進行	1	痔	9
ポリープ腺腫	18	大腸憩室	5
ポリープ過形成	5	その他	3
ポリープその他	1	異常なし	3
		合計	48

(4)子宮頸がん検診

1)受診状況

対象者人数	受診者(20歳以上)							
	総受診者数(A)	集団	個別	対象者に対する割合	前年度の受診者数(B)	2年連続受診者数(C)	A+B-C(D)	受診率(D)/R5対象数
6,616	733	371	362	11.1%	795	18	1,510	22.8%

※対象者数については、R2年度の国政調査に基づき算定された人数を記載。(20歳以上の市民-職域対象者)

※妊婦健診における子宮がん検診受診者は含まない ※H29年度から隔年受診に変更した

※受診率＝(前年度の受診者数)+(当該年度の受診者数)－(前年度および当該年度における2年連続受診者数)/(当該年度の対象者数)×100

2)精密検査受診状況(令和4年度) ※対象者数はH27年の国勢調査に基づき算定された人数を記載

対象者人数	受診者(20歳以上)				所見なし		要精密検査人数	要精検率	精密検査受診者数	精密検査受診率
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合	人数	率				
6,616	795	414	381	12.0%	793	99.7%	2	0.3%	2	100.0%

3)精密検査結果(令和4年度)

内容	人数
CIN3+ AIS	0
CIN	1
	2
その他	0
合計	2

(5) 乳がん検診

1) 受診状況

対象者人数	受診者(40歳以上)							
	総受診者数 (A)	集団	個別	対象者に対する割合	前年度の 受診者数 (B)	2年連続 受診者数 (C)	A+B-C (D)	受診率 (D)/R5 対象者数
6,190	893	640	253	14.4%	769	4	1,658	26.8%

※対象者数については、R2年度の国政調査に基づき算定された人数を記載。(40歳以上の市民-職域対象者)

※受診率＝((前年度の受診者数)＋(当該年度の受診者数)－(前年度および当該年度における2年連続受診者数))/(当該年度の対象者数)×100

2) 精密検査受診状況(令和4年度) ※対象者数については、H27年度の国政調査に基づき算定された人数を記載

対象者人数	受診者(40歳以上)				所見なし		要精密 検査 人数	要精検率	精密検査 受診者数	精密検査 受診率
	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合	人数	率				
6,190	769	498	271	12.4%	712	92.6%	57	7.4%	55	96.5%

3) 精密検査結果 (令和4年度)

内容	人数
がん	3
乳腺症	10
繊維腺腫	4
その他	13
異常なし	25
合計	55

※乳がん検診は、視触診とX線(マンモグラフィー)の単独検診であり、隔年受診

(6) 前立腺がん検査

前立腺検査は、50歳以上の男性を対象に平成19年度より集団検診にて実施した。血液PSA検査を実施している。

平成29年度から市内協力医療機関で、令和元年度からは奥越地域の協力医療機関で個別検診も実施している。

1) 受診状況

対象者 人数	総受診者数	集団	個別	対象者に対する割合	所見なし		所見あり	
					人数	率	要精検人数 (PSA4.0以上)	率
5,012	856	543	313	17.1%	795	92.9%	61	7.1%

※対象者数については、50歳以上の市民-市民税特別徴収者で算定

(7) 各種がん検診受診率の推移

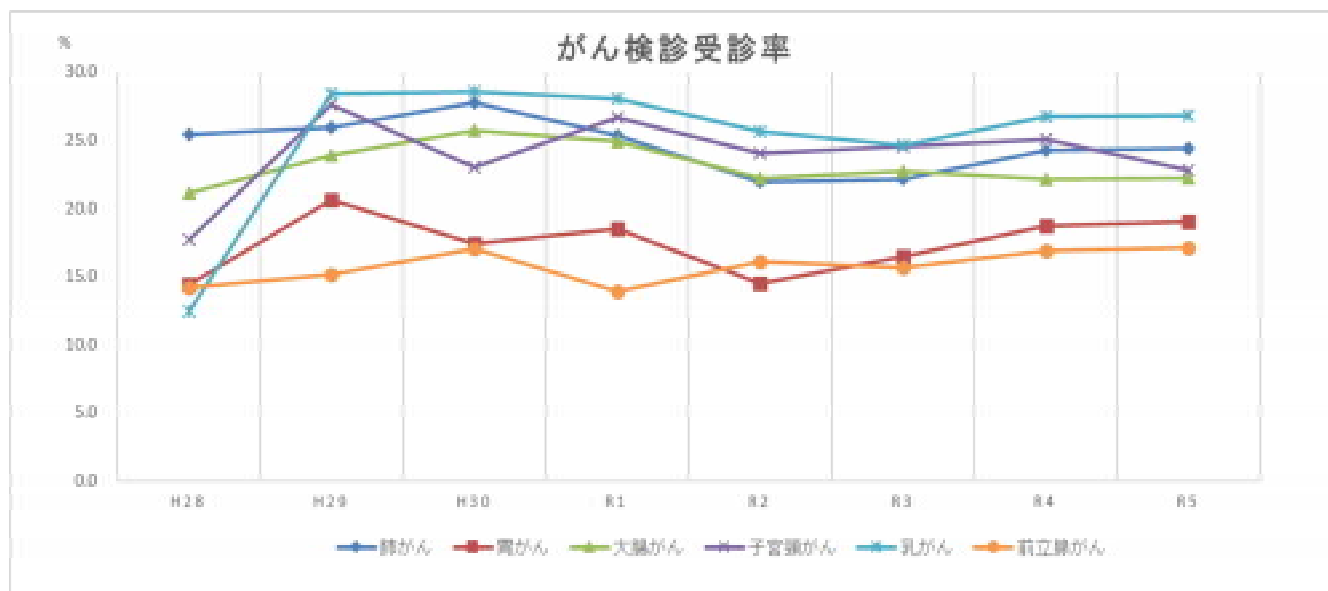
(%)

種類	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
肺がん	25.4	25.9	27.7	25.3	21.9	22.1	24.2	24.4
胃がん	14.4	20.6	17.4	18.5	14.5	16.4	18.7	19.0
大腸がん	21.1	23.9	25.7	24.9	22.2	22.7	22.1	22.2
子宮頸がん	17.7	27.6	23.0	26.6	24.0	24.5	24.8	22.8
乳がん	12.4	28.4	28.5	28.0	25.6	24.6	26.7	26.8
前立腺がん	14.2	15.1	17.0	13.9	16.1	15.6	16.9	17.1

※平成29年度から、隔年受診の胃・乳・子宮頸がん検診の受診率算出方法を下記のとおり変更する

受診率＝((前年度の受診者数)＋(当該年度の受診者数)－(前年度および当該年度における2年連続受診者数))/(当該年度の対象者数)×100

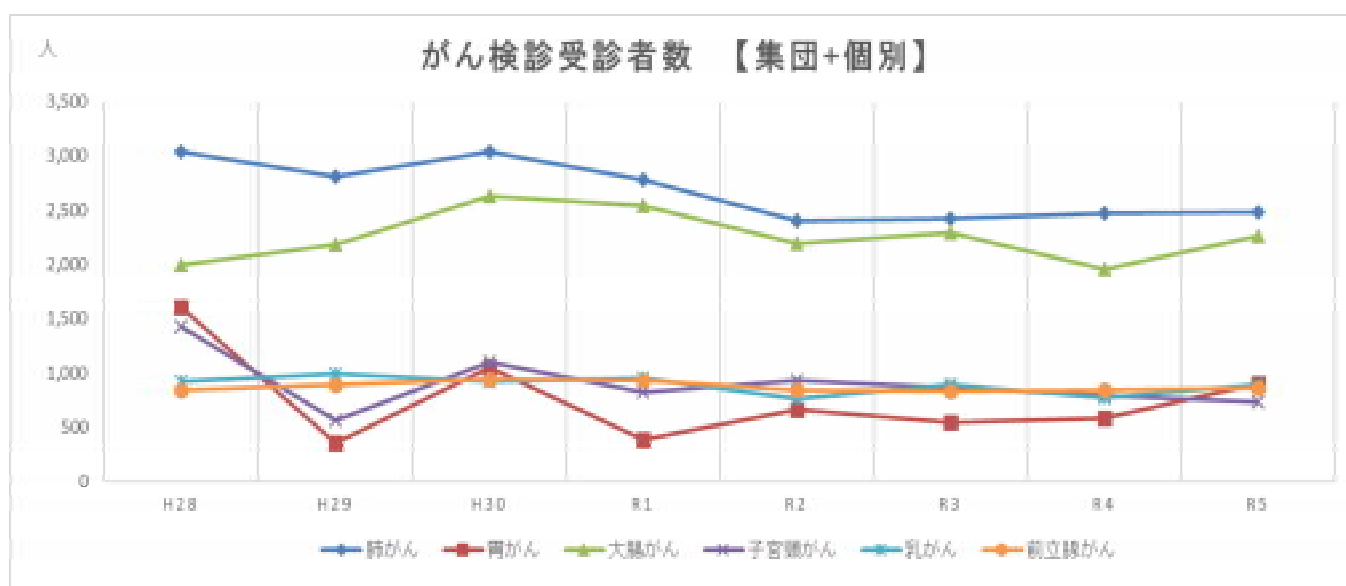
※乳がん検診は平成17年度から隔年受診であるが、平成28年度までは当該年度の受診者数のみで算出している。



(8)各種がん検診受診者数の推移

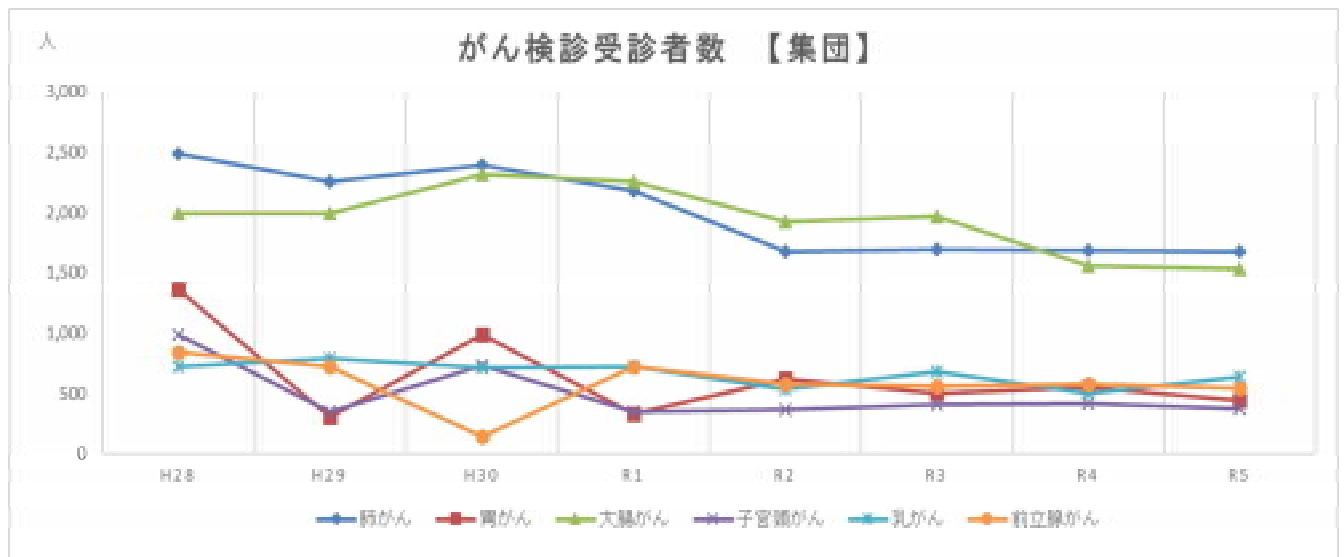
【集団+個別】

種類	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
肺がん	3,044	2,813	3,041	2,781	2,406	2,424	2,472	2,483
胃がん	1,609	357	1,051	381	659	538	580	896
大腸がん	1,991	2,179	2,632	2,538	2,196	2,291	1,951	2,263
子宮頸がん	1,430	563	1,097	824	928	857	795	733
乳がん	918	994	921	955	765	886	769	893
前立腺がん	840	886	942	934	845	830	846	856



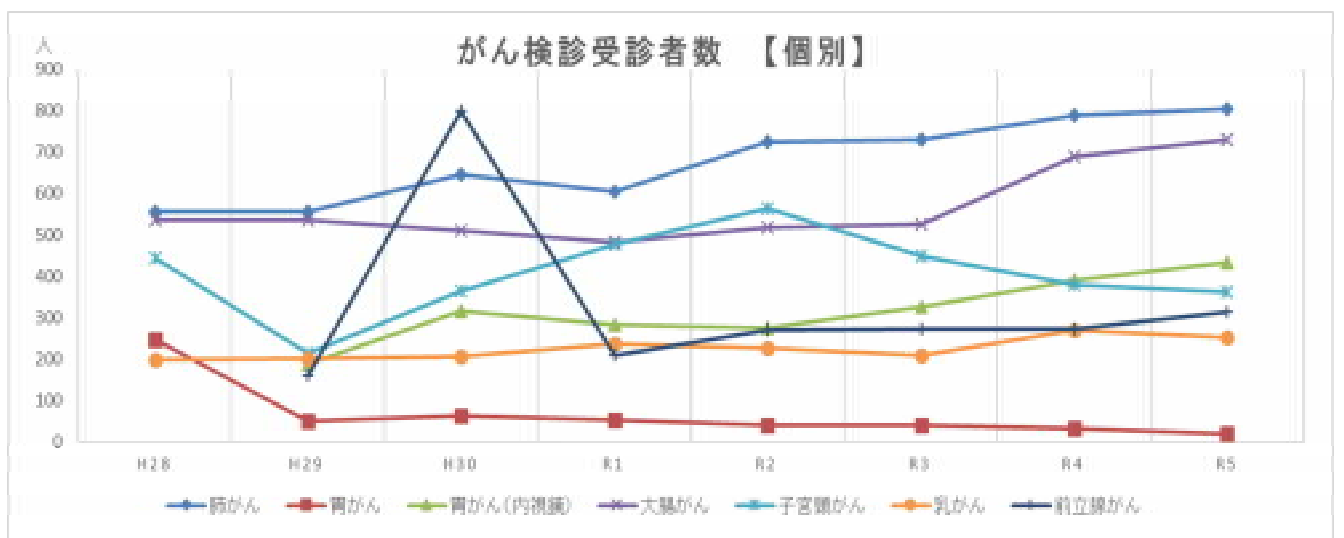
【集団】

種類	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
肺がん	2,488	2,257	2,396	2,177	1,681	1,695	1,683	1,678
胃がん	1,361	306	988	327	618	497	548	444
大腸がん	1,991	1,991	2,316	2,255	1,921	1,964	1,561	1,533
子宮頸がん	986	349	731	347	363	409	414	371
乳がん	720	792	714	719	538	676	498	640
前立腺がん	840	725	144	725	574	558	574	543



【個別】

種類	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
肺がん	556	556	645	604	725	729	789	805
胃がん	248	51	63	54	41	41	32	19
胃がん(内視鏡)		188	316	283	275	327	390	433
大腸がん	537	537	510	482	517	527	688	730
子宮頸がん	444	214	366	477	565	448	381	362
乳がん	198	202	207	236	227	210	271	253
前立腺がん		161	798	209	271	272	272	313



(9) 胃がんリスク検診(ABC検査)

血液によるピロリ菌抗体・ペプシノゲン検査により、将来の胃がんリスクを評価する検査。集団検診にて、30歳の対象者に実施した。

対象数	受診者数	陽性者 (B、C、D 判定)	精密検査 調査票 配布数	精密検査 調査票 回収数	精密検査 (胃内視鏡) 受診者数	精密検査(内視鏡) の結果		(再掲) 所見ありの うちピロリ菌 除菌者
						所見なし	所見あり	
211	19	1	1	1	1	0	1	0

4) 訪問指導

保健師・管理栄養士が訪問指導を実施した。

区分	要指導者 (健診事後・介護予防)		認知症高齢者・精神		合計	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
39歳以下	0	0	0	0	0	0
40～64歳	0	0	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0	0	0
70～74歳	2	2	0	0	2	2
75歳以上	0	0	0	0	0	0
計	2	2	0	0	2	2

10 健康づくり応援事業

1) おおのヘルスウォーキングプログラム

『歩くことから始まる健康づくり』を推進するため、令和2年度から開始。専用の活動量計を用いて歩数を計測し、歩数や定期的な体組成の測定、各種健康づくりイベントの参加にポイントを付与。ICTを活用し、スマホで自分自身の歩数や体組成データを確認したり、アプリに含まれる健康情報を閲覧することもでき、健康無関心層を含め、自然と健康になれるまちづくりの推進を目指している。

(1) 参加者の状況

項 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規参加者数	200	522	960	951
継続参加者数		178	670	1,519
合 計	200	700	1,630	2,470

(2) 関連講座等

項 目	回数	参加人数	(再掲)うちヘルスウォーキング参加者	備 考
運動講座	2	75	69	講師: 牧野康博氏 正しい歩き方講座(昼・夜)
モールウォーク	3	108	108	ショッピングモールヴィオにて1月に実施
ウォーキングイベント	6	346	345	亀山クリーンアップウォーク(1回) 亀山ナイトウォーク(5日間)
公民館等とのコラボ企画	10	1,121	757	公民館や他課主催の健康関連講座にポイントを付与する

2) 健康★食守フェスタ

健康づくりの機運醸成のため、スポーツ推進課、農業林業振興課と連携した「健康★食守フェスタ」を開催。食に関するパネル展示や健康食の試食、運動講座、骨密度測定などの健康チェックを行った。

項 目	回数	参加人数
健康★食守フェスタ	1	450

11 高齢者の健康づくり推進事業

1)フレイル予防事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現に向け、東京大学が作成したフレイル予防プログラムを使用し、フレイル予防事業を実施した。

フレイル予防を推進するための市民ボランティアである「フレイルサポーター」を養成し、市民を対象としたフレイルチェックにより、フレイル兆候の早期発見や予防のポイントについて啓発活動を行った。

(1) フレイルサポーター養成状況

※令和4年度は養成講座の実施なし

項 目	R1	R2	R3	R4	R5	累計 養成者数
新規養成者数	26	17	14	0	10	67

(2) 事業実績

項 目	内 容	会 場	回 数	参加者 実人数	参加者 延人数
フレイルチェック	公民館等を会場に開催するサポーターを中心としたフレイル予防教室	0	0	0	0
フレイル予防ミニ出前講座	集落センターに出向いてフレイルの簡易チェック等を行うミニ講座	18	18	264	264
簡易フレイルチェックイベント	福祉ふれあいまつりで簡易フレイルチェックを実施	1	1	120	120

(3) フレイルサポーター活動状況

項 目	会場数	回 数	サポーター 実人数	サポーター 延人数
フレイルチェック	0	0	0	0
フレイル予防ミニ出前講座	10	10	22	25
簡易フレイルチェックイベント	1	1	10	10

(4) 研修会

項 目	回 数	参加者数
フレイルチェック練習会	0	0
フォローアップ研修会	1	28
ふくいフレイルコミッティー(オンライン参加)	1	14

2)結の故郷健康サポーター活動

平成25年より市民の健康づくりを推進するため、結の故郷健康サポーターは、市と協働で家庭や地域で健康づくりや介護予防を支える活動に取り組んでいる。

(令和5年度 登録人数：54人)

<活動状況>

項 目	回数	人数(実)	人数(延)
健康プラスデー	10	16	16
出張・健康プラスデー	24	18	39
集団検診	18	21	27
健康★食守フェスタ	1	20	20
計	53	75	102

12 母子保健事業

1) 1歳6か月児健康診査

(1) 受診状況(内科)

年 度	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	疾患及び異常の延件数																
				身体面														精神面		そ の 他
				身 体 発 育	熱 性 け い れ ん	運 動 機 能	眼 科 異 常	て ん か ん 性 疾 患	先 天 異 常	耳 鼻 咽 喉 科 疾 患	血 液 疾 患	皮 膚 疾 患	循 環 器 系 疾 患	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	泌 尿 器 系 疾 患	そ の 他	精 神 発 達	精 神 行 動	
30	185	185	100	14	0	2	0	0	3	0	0	2	1	2	0	0	4	44	29	15
R1	205	197	96.1	3	0	6	0	0	0	0	0	6	1	3	0	2	2	34	47	2
R2	178	177	99.4	21	0	8	1	0	0	2	0	8	0	4	0	3	2	38	30	8
R3	176	171	97.2	0	0	5	0	0	3	0	0	3	0	0	1	0	0	42	17	10
R4	168	167	99.4	6	0	1	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	39	30	11
R5	157	157	100	31	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	38	33	8

(2) 歯科健診

年 度 (年)	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	受 診 率 (%)	虫 歯 保 有 者 (人)	虫 歯 保 有 率 (%)	虫 歯 総 本 数 (本)	一 人 当 り 数 (本)	軟 組 織 異 常 (人)	咬 合 異 常 (人)	そ の 他 異 常 (人)
30	185	184	99.5	4	2.2	9	2.3	0	10	9
R1	205	197	96.1	1	0.5	2	2	0	1	0
R2	178	177	99.4	1	0.6	2	2	0	1	8
R3	171	171	100	0	0	0	0	0	2	4
R4	167	167	100	1	0.6	8	8	0	3	4
R5	157	157	100	1	0.6	2	2	0	3	3

2) 2歳児健診(発達相談)

1歳6か月児健診において保護者から発達相談の希望があった児に対し、2歳児健診を実施。心理士と保健師が発達にかかる検査、相談を行い必要な支援につなげる(令和元年7月開始)。

年度	R1	R2	R3	R4	R5
対象者	15人	17人	17人	16人	9人

3)3歳児健康診査

(1)受診状況(内科)

年 度	対 象 者 数	受 診 者 数	受 診 率	疾患及び異常の延件数																
				身体面														精神面		そ の 他
				身 体 発 育	熱 性 け い れ ん	運 動 機 能	眼 科 異 常	て ん かん 性 疾 患	先 天 異 常	耳 鼻 咽 喉 科 疾 患	血 液 疾 患	皮 膚 疾 患	循 環 器 系 疾 患	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	泌 尿 器 系 疾 患	そ の 他	精 神 発 達	精 神 行 動	
30	226	226	100	3	0	3	38	0	0	6	0	9	5	1	1	20	2	29	56	17
R1	202	189	93.6	0	0	1	25	0	0	2	0	3	1	1	0	20	4	13	37	8
R2	210	208	99.0	3	0	1	41	0	1	6	0	21	4	7	0	45	1	30	28	8
R3	204	198	97.1	6	0	1	29	1	0	1	0	12	2	1	0	15	0	28	27	2
R4	169	169	100	0	0	1	24	0	0	0	0	0	1	0	0	6	1	15	29	7
R5	180	179	99.4	3	0	1	37	1	0	2	0	6	2	0	0	15	2	21	21	13

※平成28年度より対象を3歳1か月から3歳6か月で実施するように変更した。

(2)歯科健診

年 度 (年)	対 象 者 数 (人)	受 診 者 数 (人)	受 診 率 (%)	虫 歯 保 有 者 (人)	虫 歯 保 有 率 (%)	虫 歯 総 本 数 (本)	一 人 当 り 数 (本)	軟 組 織 異 常 (人)	咬 合 異 常 (人)	そ の 他 異 常 (人)
30	226	225	99.6	62	27.6	157	2.5	0	8	14
R1	202	189	93.6	39	20.6	114	2.9	0	5	2
R2	210	208	99.0	36	17.3	114	3.2	0	17	9
R3	198	198	100	38	19.2	77	2.0	0	10	6
R4	169	169	100	16	9.5	46	2.9	0	6	6
R5	180	179	99.4	22	12.3	53	2.4	0	15	7

(3)発育状況

(人)

肥 満 度				
15～19%	20～29%	30～49%	50%以上	計
6	4	0	0	10

(4)尿検査状況

(人)

受診者	蛋 白		糖	
	+	++以上	+	++以上
179	1	0	0	0



4) 幼児歯科健診とフッ素塗布

令和2年度から3歳児健診において、希望者にフッ素塗布を実施。令和3年度からは1歳6か月児健診においても同様に実施している。

(1歳6か月児健診) 対象者数:157人 実施数:151人 実施率:96.2%

(3歳児健診) 対象者数:179人 実施数:167人 実施率:93.3%

※例年6月に実施していた大野市歯科医師会主催の歯科健診・フッ素塗布は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

5) 母子健康手帳の交付

年度	妊娠届出数(件)	再発行数(件)	交付数(件)
R1	184	1	188
R2	158	8	167
R3	150	2	156
R4	131	6	138
R5	117	2	121



6) 不妊治療費助成事業

この事業は、保険診療適用外の不妊検査や一般不妊治療・特定不妊治療に対して、かかった費用の一部を助成するもので、平成17年度から実施している。

助成額は治療に要した費用から県が実施する助成額を引いた額としている。(限度額300,000円/年)

< 助成件数 >

年度	実件数(組)	延件数(件)	妊娠件数
30	27	51	7
R1	27	49	13
R2	25	38	3
R3	40	46	22
R4	12	12	4
R5	7	9	3



7) 妊婦情報事前登録制度

令和2年2月より、万が一の救急車利用に備えて、妊婦に関する情報を事前に健康長寿課に登録してもらう制度を実施。(任意) 消防署と情報を共有し、スムーズな搬送につなげる。

登録数(令和5年4月～令和6年3月): 111件

8) 離乳食教室(育児相談会と併せて実施)

対 象	回 数(回)	対象児数(人)	参加児数(人)	内 容
5か月児	12	130	52	離乳食講習会等



9) 育児相談会

内 容	回数 (回)	参加者数(人)			備 考
		児	保護者等	合計	
定例育児相談会	24	497	514	1,011	会場:保健センター (身体計測・相談等)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、離乳食個別相談予約枠の導入や予約者への受付時間の分散案内等を実施。

10) 多胎妊産婦交流会

就学前の多胎児とその保護者及び多胎児を妊娠中の方とその家族を対象に、保健センターにて実施。

実施日	参加者
令和5年7月22日(土)	4組

11) 母子訪問指導

年 度	訪問件数(人)				従事者(人)			
	妊産婦	新生児	乳児	幼児	保健師	看護師	助産師	管理栄養士
30	194	34	179	85	7	1	1	1
R1	149	12	137	38	6	1	1	0
R2	205	15	197	24	7	0	1	0
R3	190	21	170	11	7	0	1	0
R4	158	17	131	10	8	0	1	0
R5	149	18	118	9	7	0	1	0

・平成19年8月より「こんにちは赤ちゃん事業」として生後4か月までの乳児の全戸訪問を実施。

12)妊産婦・乳児一般健康診査等

疾病の予防と早期発見のため、健康診査を医療機関に委託して実施している。

母子健康手帳交付時に、妊婦健診14回、子宮頸がん検診1回、HTLV-1検査1回、性器クラミジア検査1回、乳児健診(1か月児・4か月児・9～10か月児)3回分の受診券を発行している。

※新生児聴覚検査および産婦健康診査(産後1か月):令和2年度から実施

(1)妊婦一般健康診査(血圧、体重測定等)

※ 受診結果は重複有 (人)

受診票 交付実人数	受診数		受診結果			
	実人数	延人数	要精検	要治療 貧血	要治療 貧血以外	要経観
126	192	1,400	5	49	5	106

(2)妊婦各種健康診査

項 目	受診者数(人)
子宮頸がん検査	114
HTLV-1抗体検査	119
性器クラミジア検査	119



(3)新生児聴覚検査

項 目	受診者数 (人)
新生児聴覚検査(生後1か月)	112

(4)産婦健康診査

項 目	受診者数 (人)
産婦健康診査(産後1か月)	108

(5)乳児一般健康診査

※受診結果は複数有 (人)

対象	対象者数	受診者数	異常 なし	要指導	要観察	要精検	要治療	再掲)要治療内訳		
								内科 疾患	皮膚 疾患	その他
1か月	112	106	88	3	10	2	3	1	0	2
4か月	135	108	99	0	4	0	5	1	2	2
9～10 か月	170	119	96	3	13	2	5	0	2	3

13) 母乳外来等費用助成

授乳や育児で困った時に早めに助産師等に相談し、安心して育児をしていただけるよう、母乳外来や助産師訪問にかかった費用の一部助成を実施。産後1年未満の産婦を対象とし、一人あたり3回まで、1回3,000円を上限に助成する。(令和2年度から実施)

【実績】 利用実人数:37人、利用延べ回数:77回

13 予防接種事業



1) 定期接種

(1) A類疾病 (集団予防に重点、努力義務あり)

種 別			標準的な接種時期	接種者数
ロタウイルス 感染症	ロタリックス	1回目	初回接種は、生後2か月～出生14週6日後までに受ける	74
		2回目		70
	ロタテック	1回目		33
		2回目		31
		3回目		35
	B 型肝炎	1回目		生後2か月～9か月に至るまでの期間
2回目		105		
3回目		129		
Hib感染症	初回	1回目	初回：生後2か月～7か月未満 追加：初回終了後7か月～1歳1か月までの間隔をおく	108
		2回目		103
		3回目		122
	追加			148
小児用肺炎球菌	初回	1回目	初回：生後2か月～7か月未満 追加：1歳～1歳3か月に至るまで	108
		2回目		103
		3回目		122
	追加			145
四種混合 ※ジフテリア 破傷風 百日咳 ポリオ	1期初回	1回目	初回：生後2か月～1歳に達するまで 追加：初回の3回目終了後1歳～1歳6か月までの間隔をおく	113
		2回目		122
		3回目		138
	1期追加			148
二種混合 ※ジフテリア・破傷風			1 1歳～1 2歳に達するまでの期間	195
BCG ※結核			生後5か月～8か月未満	135
麻しん	1期		1歳～2歳に至るまでの間	150
風しん	2期		5歳～7歳未満 ※小学校入学前の1年	190
風しん5期			抗体検査実施数	79
※S37.4.2～S54.4.1 生まれの男性で抗体検査の結果、抗体がないと判定された者			予防接種実施数	18
水痘	1回目		1歳～1歳3か月に達するまで	152
	2回目		1回目終了後6か月～12か月までの間隔をおく	129
日本脳炎	1期初回	1回目	3歳～4歳に達するまでの期間	184
		2回目		173
	1期追加		4歳～5歳に達するまでの期間	178
	2期		9歳～10歳に達するまでの期間	407
		特例	高校3年生相当 ※H14.4.2～H20.4.1 生	

ヒトパピローマウイルス 感染症 ※HPV	1回目	※中学1年生相当に通知する。使用するワクチン や接種開始年齢で接種回数が違う	100
	2回目		52
	3回目		30
	1回目	キャッチアップ接種対象者 ※H9.4.2～H18.4.1 生	137
	2回目		121
	3回目		126

(2) B類疾病 (個人予防、努力義務なし)

種 別		対象者数(人)	接種者数(人)	接種率((%)
高齢者用 インフルエンザ	60歳～64歳厚生労働省令該当者	—	7	—
	65歳以上の者	11,599	5,550	47.8
高齢者用 肺炎球菌 ※対象者数は未接種者数	60歳～64歳厚生労働省令該当者	—	3	—
	65歳の者	471	174	36.9
	70歳の者	302	71	23.5
	75歳の者	387	70	18.1
	80歳の者	223	50	22.4
	85歳の者	178	29	16.3
	90歳の者	149	29	19.5
	95歳の者	70	9	12.9
	100歳の者	12	3	25.0

2〕特例臨時接種

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業

新型コロナウイルス感染症による死亡・重症化予防、まん延防止のため、予防接種法に基づき、生後6か月以上の市民を対象とした特例臨時接種を実施した。令和5年度は春開始接種(5/8～)、秋開始接種(9/20～)を個別接種のみで実施し、令和6年3月31日をもって終了した。

予防接種接種数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
接種者数	258	2,368	2,754	1,583	468	1,230	3,285	2,334	1,415	455	316	192	16,658

3〕任意接種

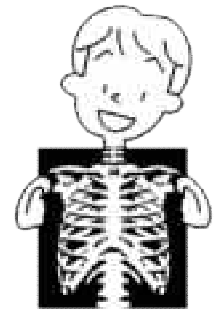
種 別	補助内容	対象者	申請件数
子どもインフルエンザ 予防接種費助成事業	インフルエンザワクチン接種費用の補助	1歳～中学3年生	1,314
風しん 予防接種費助成事業	麻しん風しん混合ワクチン、風しん単抗原ワクチンの接種費用の補助	平成2年4月1日以前生まれの者かつ、妊娠を希望する者、妊婦の同居家族等で、風しん抗体検査により、医師が必要と認めた者	6

14 結核予防事業

区分	間接撮影		
	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
65歳以上	9, 443	1, 915	20. 3
うち80歳以上	2, 707	416	15. 4

※肺がん検診受診対象者について計上(結核健康診断月報より)

※対象者は肺がん検診の受診券発行数



15 地域医療対策事業

1) 休日急患診療所

(1) 月別利用状況

診療月		診療日数(日)		受診者数(人)			内科 (人)	小児科 (人)	外科 (人)	救急車 搬入数(件)	二次病院へ の転送(件)
		土曜日	休日	土曜日	休日	計					
R5	4月	4	6	22	137	159	54	58	47	2	0
"	5月	4	7	39	274	313	116	113	84	3	2
"	6月	4	4	33	98	131	47	45	39	2	0
"	7月	5	6	39	246	285	125	92	68	4	1
"	8月	4	7	55	257	312	170	70	72	3	1
"	9月	4	6	56	255	311	144	104	63	4	0
"	10月	4	6	33	222	255	92	103	60	4	2
"	11月	4	6	48	253	301	120	117	64	1	2
"	12月	5	5	84	363	447	218	184	45	1	3
R6	1月	4	8	52	499	551	296	197	58	4	2
"	2月	4	6	46	391	437	170	231	36	3	1
"	3月	4	6	37	331	368	151	168	49	1	0
合 計		51	73	544	3,326	3,870	1,703	1,482	685	32	14
1 日当平均受診者数				11	46	31					

(2) 年度別利用状況

診療月	診療日数(日)		受診者数(人)			内科 (人)	小児科 (人)	外科 (人)	救急車 搬入数(件)	二次病院へ の転送(件)
	土曜日	休日	土曜日	休日	計					
H26	48	72	572	3,654	4,226	1,637	1,498	1,091	108	73
H27	50	71	578	3,405	3,983	1,492	1,488	1,003	70	53
H28	50	72	615	3,521	4,136	1,673	1,466	997	63	51
H29	50	72	626	3,342	3,968	1,559	1,494	915	48	47
H30	50	74	505	3,521	4,026	1,688	1,423	915	40	30
R1	50	77	514	3,498	4,012	1,561	1,562	889	42	34
R2	50	70	291	1,479	1,770	576	745	449	16	14
R3	51	71	361	1,730	2,091	622	687	782	15	24
R4	50	72	317	1,854	2,171	655	783	733	17	14
R5	51	73	544	3,326	3,870	1,703	1,482	685	32	14

休日急患診療所



2]和泉診療所

(1)月別利用状況

診療月		診療日数(日)		受診者数(人)		訪問看護 利用者数	救急車 搬入数	二次病院 への転送
		内 科	歯 科	内 科	歯 科			
R5	4	16	11	300	91	0	0	2
"	5	16	14	369	124	0	1	1
"	6	18	12	410	104	0	0	1
"	7	16	12	322	97	0	2	2
"	8	16	13	358	119	0	0	2
"	9	16	9	314	80	0	1	1
"	10	16	13	392	111	0	1	2
"	11	15	13	559	131	0	0	0
"	12	20		385		0	1	1
R6	1	19		275		0	1	1
"	2	19		316		0	0	0
"	3	20		310		0	0	0
合 計		207	97	4,310	857	0	7	13
一日当平均受診者数				21	9			

(2)年度別利用状況

診療月	診療日数(日)		受診者数(人)		訪問看護 利用者数 (人)	救急車 搬入数(件)	二次病院 への転送 (件)
	内 科	歯 科	内 科	歯 科			
H26	190	231	5,184	1,807	46	8	11
H27	193	233	4,898	1,555	13	5	9
H28	191	234	5,153	1,690	0	14	11
H29	192	230	4,878	1,454	0	11	14
H30	192	223	4,813	1,332	0	5	14
R1	194	229	4,835	1,476	0	6	11
R2	190	238	4,317	1,364	0	8	10
R3	193	139	6,146	1,374	0	3	6
R4	188	140	4,874	1,073	0	3	8
R5	207	97	4,310	857	0	7	13

※歯科診療は、R3.4 より診療日数を週5日から週3日に変更。 R5.11 月末で診療を廃止した。

和泉診療所



16 健康保養施設

健康保養施設「あっ宝んど」は、平成12年4月20日からオープンした。

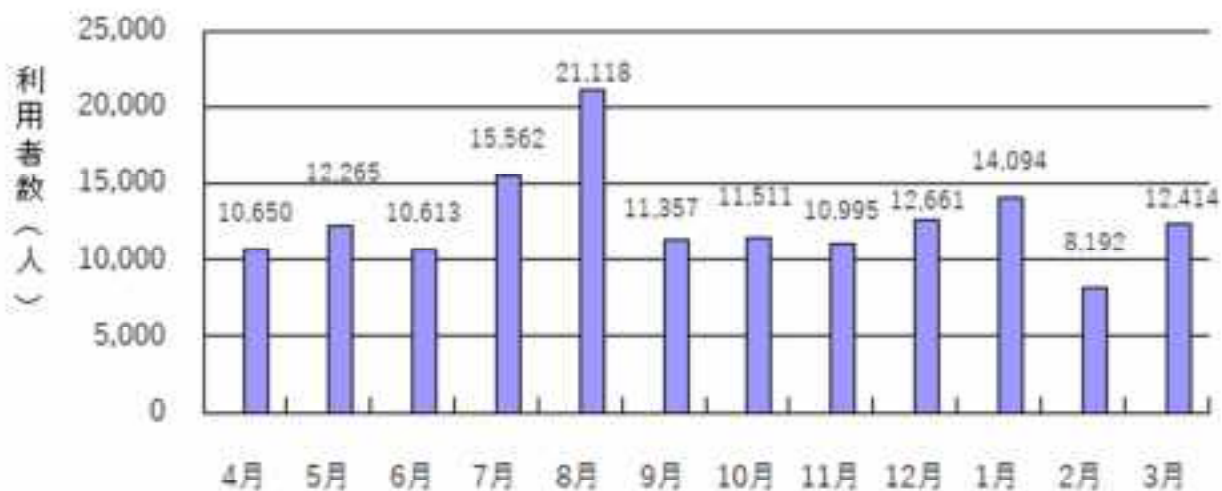
平成18年4月1日から指定管理者委託により運営している。

1) 利用者数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26	11,625	13,291	11,127	14,620	23,380	11,225	11,326	12,262	13,557	16,545	13,591	13,486	166,035
H27	11,480	13,914	12,182	16,515	23,176	11,744	8,947	11,875	13,635	16,294	15,080	15,337	170,179
H28	13,423	13,802	11,507	17,737	23,598	11,931	11,789	11,264	13,294	15,900	11,893	12,934	169,072
H29	11,037	13,007	10,543	16,510	22,124	10,781	11,034	11,669	13,233	16,071	12,279	15,043	163,331
H30	11,063	12,631	10,592	17,154	21,265	10,384	10,471	10,654	13,114	14,780	11,992	12,234	156,334
R1	11,684	13,223	10,839	14,254	23,344	11,266	10,361	10,539	12,149	12,874	12,323	10,436	153,292
R2	1,168	2,959	8,573	10,801	17,356	11,298	10,844	11,076	11,575	10,926	10,118	10,402	117,096
R3	8,708	9,770	9,420	14,148	15,398	9,510	10,366	10,845	11,398	12,839	9,190	10,463	132,055
R4	9,797	12,239	10,934	14,667	17,944	10,927	11,053	8,935	11,011	13,532	10,613	11,471	143,123
R5	10,650	12,265	10,613	15,562	21,118	11,357	11,511	10,995	12,661	14,094	8,192	12,414	151,432

2) 令和5年度月別利用状況



健康保養施設「あっ宝んど」



第4次健幸おおの21

(計画期間 令和4年度～令和8年度)

～生涯活躍、元気な大野人^{おおのびと}をめざそう～

★★★★★5つの推進項目★★★★★

1 身体活動

—いつもより少し多めに体を動かしてみましょう 散歩で1,000歩！—

2 栄養・食生活

—食事は野菜たっぷり、味付けは薄めにしましょう！—

3 たばこ・アルコール

—禁煙と適度な飲酒であなたと周りの健康を守りましょう！—

4 休養・こころの健康

—質の良い睡眠で休養をとり、よく笑ってストレスを解消しましょう！—

5 歯・口腔の健康

—お口の中の健康に関心を持ち、生涯を通じて健康な歯・口腔を
目指しましょう！—

令和6年大野市保健衛生の統計

(令和5年度統計)

発行 令和6年8月

編集 大野市健幸福祉部健康長寿課

〒912-0084 大野市天神町1番19号

電話 0779-65-7333(結とぴあ内)

FAX 0779-66-0294

